

## ■ eトレsa 夏の活用法

### 提案1 通塾可能なら、eトレsaで自立型学習コース

- ▶ eトレで個別に弱点を発見し、ピンポイントの指導で広範囲を効率良く学習
- ▶ 1学期の子どもの習熟度はさまざま、18万ページ100万題のデータベースなら楽々対応

eトレの自立型学習コースなら、通常の夏期講習授業にプラスしても、また、コース単体でも実施可能です。

講習の目的に合わせて学習計画を立て、分からなかった単元のみ指導をするようにすれば、すべてを教える必要がないため、効率的で無駄がありません。

eトレには、「正答率70%未満」など範囲を設定して、条件に合った苦手単元を、簡単にピックアップし印刷することができる機能もあります。印刷された単元のみ、指導したり、再度プリントに取り組ませたりしましょう。



### ◆コース詳細

日程		8月3・4・5・6・7・9 の6日間
時間割 ※各時間帯のうち、どれかひとつを選択 複数選択も可能	午前	09:30～12:20
	午後	14:00～16:50
	夜	18:00～20:50
料金例（税抜き価格） ※複数選択の場合は、割引あり	小学生	14,000円
	中学生	18,000円
	高校生	20,000円

### ポイント

- ①通常のeトレ自立型学習では、チューターの先生が積極的に生徒へ声掛けをし、その場を盛り上げます。ですが、感染リスクを少しでも減らすため、真横に生徒を立たせ、声掛けは最低限にするようにしましょう。
- ②生徒の座らせ方は、前後左右を空け、斜めに座らせるのがいいでしょう。
- ③開始時間に生徒ごとの時差を設けることで、さらに人数を減らすことができます。

**提案 2 スクーリングあり、eトレsaで自宅学習支援**

- ▶ eトレプリントを自宅学習用に配布し、週1回程度の通塾でフォロー
- ▶ 学習計画・プリントリスト機能を活用し、家庭学習用のプリントをリスト化することで進捗管理が可能
- ▶ 他の生徒とのバッティングを防ぐため、スクーリングには時差を設ける

オンライン授業も、通常の授業どちらも実施するのが難しい場合もあると思います。  
 その場合は、計画的に生徒にeトレプリントを渡し、家庭学習を支援していきましょう。  
 夏休み中、1週間に1回程度塾に来てもらい、プリントを配布すると同時に、前回渡したプリントの不明点への指導をします。

学習させるプリントのカリキュラムは生徒や学年ごとにリスト化しておけるので、学習管理まで簡単に行えます。  
 事前に夏休み中に学習するものを決めておき、進捗管理をしていくのがおすすめです。

得点をまとめて入力する機能を使って、回収したプリントの得点をeトレへ記録しておきましょう。  
 その記録をもとにして成績表を出力すれば、保護者へのフィードバックにも活用できます。



◆生徒に配布するプリントの具体例

中学3年生	1日の学習時間	1日1教科1. 5時間程度 ※「まとめ」分野であれば、1～2単元程度のプリントが1時間に相当します
	学習内容	中1・2の内容の総復習、中3の1学期の学習内容

1回目に渡すプリントの単元

英語	英文法1年	一般動詞(1・2人称、3人称・単数)、be動詞①②、複数形、形容詞・副詞
数学	1年のまとめ	正の数と負の数・正負の数の加法・減法、正負の数の乗法・除法、素数の積 正負の数の四則計算・分配法則、正負の数の応用問題
理科	1年のまとめ	光、音、力、物質の性質、状態変化・気体、水溶液
社会	地理のまとめ	世界の諸地域、日本の諸地域、世界と日本の地形・気候、世界と日本の人口・結びつき
国語		教科書準拠シリーズと文章問題③を組み合わせる など

**ポイント**

- ①夏休み期間中に学習させる範囲や、1日あたりの学習時間を考えて、配布する内容を決めます。
- ②広い範囲を復習させたい場合はまとめ分野、ピンポイントで苦手克服の場合は標準分野がおすすめです。
- ③渡したプリントを生徒に自己採点させるかは、先生の裁量で決めて構いません。
- ④生徒が通塾した際は「すごい、満点だね!」「この調子で頑張ろう」など、生徒のやる気を引き出す声掛けをしましょう。